

## 大阪もブルーレイで映写会をやる時代に

この7月1日(日曜日)第30回日本を縦断する映像発表会が、大阪市立中央図書館大会議室で開催されました。梅雨空のもと観客の入り心配されましたが、12時上映開始にも拘わらず大勢の方々が来場されて盛会となりました。さて、大阪での公開映写会は従来標準サイズのDVテープに上映順に4:3とハイビジョンを別々に収録し、それを再生してプロジェクターを通して上映していました。ところが東京発表会ではブルーレイに一括収録したもので上映されたとのことで、大阪でもブルーレイでやってみようと上映担当者が取り組み始めたところ、自慢の明るい1万ルーメンと7千ルーメンのプロジェクターとのコード接続端子が手持ちのブルーレイ再生機の端子と遭わず、一時断念しかけたのですが、端子の合うブルーレイ再生機を新しく買い揃えることで、今回のブルーレイによる公開映写会が実現しました。お陰さまで映画館並みの明るい映写で観客の皆さんにもご満足して頂けたものと思っています。

思えば映像発表会は、8ミリフィルム時代からVHS、ハイエイト、そしてDV、HDVの時代へと時代と共に機材が変わってきました。8ミリ映画時代、非常口の照明に黒い覆いをかぶせて場内をまっ暗の中で映写会をやっていた頃に比べて、今の明るくシャープな映像は、まことに感慨深いものがあります。もっとも、作品のレベルはムカシと今とではどう違ってきているでしょう。この9月2日(日曜日)大阪で「懐かしの8ミリ映画を楽しむ会」が開催されますが、これも楽しみにしています(合原)。

### 7月例会のお知らせ

7月例会は第4土曜日28日午後6時より、難波市民学習センターにて開催します。今年のOMCフェスティバル上映作品候補は、この7月例会までの作品の中より選定しますので、出品予定者は作品持参して下さい。ちなみに発表会は10月7日(日曜)13時からです。

■幹事会開催：発表会作品選定及びプログラム編成会議を8月2日13時より例会場の第1会議室で行います。木曜日ですがどうぞ宜しく。

## 撮影会コンテスト

### 紙本勝さんが最優秀賞

去る4月7日(土)8日(日)行われたOMC恒例一泊撮影会は、今年は井上会員のリーダーにより、滋賀県近江八幡市安土町にある沙沙貴神社の火祭りを撮影対象とし、このほど作品コンテストが行われました。当夜は大変寒い夜で参加者一同ふるえながらの撮影でしたが、皆さんよく纏められていました。祭りの様子が第三者にも伝わってきました。互選によりコンテストが行われた結果は次の通りです。

- ・最優秀賞：沙沙貴まつり  
紙本 勝さん BD 14分10秒
- ・優秀賞：沙沙貴まつり・大松明奉納  
宮崎紀代子さん BD 11分31秒
- ・秀作賞：沙沙貴まつり  
進藤信男さん BD 21分00秒
- ・努力賞  
沙沙貴まつり 江村さん 6分50秒  
安土沙沙貴祭2012 井上さん 11分19秒  
沙沙貴火祭り 前田さん 12分50秒  
松明に賭ける男たち  
河合さん 10分45秒  
安土の一日 有村さん 17分00秒  
沙沙貴神社大祭 鉄具さん 10分00秒

このほか森田さんも出品されましたが、どういうわけか再生不能で棄権されました。また前田作品がナレーションが出なくてせっかくの作品が活かされず残念でした。この原因を解明して欲しいところです。

#### ■予告

・9月例会は第4土曜が祭日で夜は閉館です。なので第5土曜29日18時よりとします。

## 6月例会レポート

梅雨の晴間の23日に例会実施、珍しく吉岡氏が腰を痛めてご欠席。今月の司会は上田氏、書記、宮井氏、上映担当、江村、河合、井上の3氏、受付兼照明係は宮崎、華岡の各担当で時間一杯の盛会で進行。

◆出席者：有村、井上、江村、上田、岡本、上総、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、高瀬、鉄具、西村、華岡、前田、宮井、宮崎、森口、森下、森田、山本、渡辺(敬称

略)の24氏と15本の出品がありました。

◆上映作品(今月の記録と講評担当：宮井世話役です)

### 1) ミコシの川渡り(SSD)

森田光春さん

7分50秒

作者は作品をSSDのハードデスクに入れて持参されたため、記録用の録画が出来ず例会で見せていただいた記憶を頼りに、本文を書きます。したがって、的外れなことを書いてあればお許しください。作品は南タイのお祭りを撮影したもので10基のミコシが川を渡ります。ミコシは小さなものなので二人で持つことが出来ます。ミコシの行列のあと、川に浮かべたミコシを押して男たちは泳ぎながら向こう岸に着きます。珍しい川渡を見せて頂きました。

### 2) 8ミリ仲間の集まり(BD)

有村 博さん

11分

26年前のOMCの撮影会の様子をビデオで撮影された作品です。前田さん、江村さん、那須さん達も8ミリカメラを回していました。川端会長は撮影していません。撮影対象は絵馬を画く絵師です。畑を耕しているシーンや絵を画いているところを撮影しています。ビデオカメラで撮影は作者だけで、撮りながら、仲間に問いかけます。「なぜ8ミリにこだわるのですか。聞かせて下さい。」答えは「ビデオにはシャープさが無い。」「大きく映写出来ない。」など。作者は「実は私も8ミリ派です。笑」。26年経ち、8ミリは文化遺産になりました。懐かしくて楽しい作品でした。

### 3) 紫縁起(改作)(BD)

関 博さん

8分23秒

作者に聞きました。「だいぶん変えられたのですか?」「変えました。前は未完成でした。」なるほどと思いました。心象派映像作家らしい素晴らしい作品の誕生です。映像の美しさ、歯切れのよいカット編集、BGMと音の効果が映像をより引き立て見る者を魅了します。この作品は若者も共感すると思います。撮影地は三井寺と宇治です。紫式部が源氏物語を書き始めてといわれる三井寺。平安時代の女性の顔が様々な編集技法で随所に出てきます。不気味な笑い声や話声など怨念を表現しているの

が解ります。その怨念は紫式部か源氏のものか解りません。見る人それぞれが考える必要があります。それが作者の狙いです。

#### 4) 葵祭 (BD)

高瀬辰雄さん 12分45秒

5月15日に行われる葵祭は上賀茂神社と下鴨神社の例祭です。有名な斎王代の行列は冒頭と終わりにあって、本祭りの前の神事を撮られたのが作品の大部分を占めています。5月4日は「御禊の儀」斎王代が身を清める。5月5日「歩射神事」鎗矢を櫻門の屋根を越えて飛ばす矢越え式。大的式～大きな的を射る。百々手式～連続で矢を射る。賀茂競馬(かものくらべ馬)は2頭の馬が競走する。各神事を丁寧に撮影されていて貴重な記録で勉強になりました。

#### 5) アウシュビッツ (HDV)

山本正夢さん 7分10秒

第二収容所ビルケナウの映像から始まります。線路のローアングルのカット。多くのユダヤ人が貨車で運ばれてきたのが脳裏に浮かびました。BGMは映画「シンドラのリスト」の主題曲です。宿舎内、トイレ、ガス室等、ビデオ映像と当時の写真が胸に迫ってきました。第一収容所アウシュビッツの映像になります。資料館には衣服や靴、メガネ、生活用品、毛髪などがありました。処刑される時は全裸で服や靴は再利用されていたのでしょうか。作者のカメラアイは鋭く、しかし怒りの中にある人間愛を秘めた映像は強い説得力がありました。

#### 6) 大久野島を訪ねて (BD)

紙本 勝さん 14分10秒

島は瀬戸内海国立公園の一部に指定され、国民休暇村があります。兎が野生で生息していて「うさぎ島」とも呼ばれているそうです。観光客が訪れる平和な島も終戦までは毒ガスを製造していました。農民や漁民が毒ガス製造に従事し、猛毒のため中毒症状に多くの人になった恐ろしい事実を忘れてはなりません。毒ガス資料館では撮影禁止を無視。しっかりとカメラ撮りしています。いい作品作りは厚かましくいかないとね。精力的に撮られた力作でした。

#### 7) 熱いぜよ土佐の夏 (HDV)

江村一郎さん 7分40秒

すっかりお馴染みになった作者の「よさこい」しかし毎作品は同じ作りではありません。その都度考えられて編集されているのでしょうか。タイトル通りの熱い映像が展開します。エネルギーがほとばしる踊り子たち、それを見入る観客。多彩なカットが紡がれ入り乱れ圧倒的な迫力で見入る者に迫ります。クローズアップのカメラ撮りは、いつもながら感嘆します。普通のアップでは違った印象の作品になります。クローズアップの多用が作者の本領で、誰もが真似出来ない特徴です。作者のよさこい作品の中でも上位に位置する出来栄です。

#### 8) GH2高ビット (146bps) テスト (BD) 井上勝彦さん 5分40秒

今年6月に神戸須磨離宮公園で撮影されたものです。カメラはパナソニックの一眼です。高ビットレート (146 Mbps) GH2ファームウェアのソフトを使用して編集されたそうです。圧縮率は従来の10倍の高画質になるようですが、見せていただいた映像は、薔薇の花のカットは立体感があり、美しいものでしたが、ロングの映像は、期待はずれでした。ごめんなさい。自作のドーリー(横に移動撮影)回転リグ(周りながら撮影)は素晴らしいです。作るのがお好きと伺いました。次回作を楽しみにしています。

#### 9) ベルニナ・アルプス (BD)

華岡 汪さん 14分19秒

ベルニナ・アルプスは、ピッツ・ベルニナ4049mを筆頭に3900m級の山々が連なる雄大な山脈です。ロープウェイで展望台のあるピッツ・コルバッチに登ります。展望台からピッツ・ベルニナをはじめ高峰が一望出来、作者は撮影しながら美しく雄大な風景に感動されたことでしょう。BGMは全編が静かな曲を使用して、癒しの作品になっています。各山の名前にテロップがあって良く調べられたのに敬意を表したいです。列車、ロープウェイ、ケーブルに乗り継ぎ、天気恵まれベルニナ・アルプスの風景を堪能されたことでしょう。

#### 10) 鞍馬霊水探訪 (HDV)

森口吉正さん 10分20秒

名調子のナレーションをバックに新緑が

美しい鞍馬の風景が展開します。火祭りでは有名な由岐神社、牛若丸ゆかりの東光坊、などを紹介しながら、カメラは、ひたすら湧水を求め撮影されています。魔王の滝、息次ぎの水など。奥の院まで登り、木の根道のカットがありました。筆者は作者の講評は、初めてですが、美しい映像、聞きやすい音声とナレーションなど見習いたいものばかりです。この作品も鞍馬寺の歴史に触れながら、作者のテーマである名水を、しっかりと押さえた構成は見事です・

#### 11) 上高地・梓川 (HDV)

渡邊雄史さん 5分15秒

タイトルは梓川が大きくなっていて、梓川が映像の主になって作られています。ナレーションは柏谷広子さんが担当していて、大正池が出来た訳や上高地の名前の由来、田代池の由来など語っていくオーソドックスな構成になっていますが、うまく纏められました。撮影当日は雨模様。残念でしたね。

#### 12) 男の大祭り～だんじり (HDV)

上吉吉さん 5分15秒

岸和田市出身の歌手、岩出和也の4月新譜「男の大祭り～だんじり」の曲を使用してだんじりが疾走する映像で全編を占めています。アップなど随所に入れればぐんと良くなります。使えるアップの映像が無かったそうです。今年の祭りで撮影するとよいですね。

#### 13) 交野チャリティーマラソン (BD)

鉄具嘉夫さん 10分

今年3月20日に第1回交野チャリティーマラソン。いきいきランド交野にあるスタードーム周辺で1.5キロ、3キロ、10キロの3つのコースがあって、小学生、車イス一般4,000人以上の人が参加しました。平野文部科学大臣と阪神タイガースの赤星元選手の姿もありました。3キロコースまではグラウンドの周辺を走り、10キロコースだけ一般道路で走ったようです。10キロコースの1着～5着はゴールの瞬間を撮影しています。そして表彰風景があります。Aコースの1位の商品はアサヒビール1年分、米1年分です。作品としては物足りませんが、記録性に価値があると感じま

した。

#### 14) 大阪大好きや (BD)

宮井 健さん 4分30秒

中村美律子の同名の曲を使用した歌謡ビデオです。テンポが早い軽快な曲で、乗りがよいので、作ってみましたが、歌詞に「出世地藏に手を合わせ」というのが3回あります。地藏はどこを指すのか解りません。法善寺は水かけ不動で地藏ではありません。最初だけ法善寺のカットを使いあとは無視して編集しました。道頓堀周辺と新世界、中之島公園、大阪城で撮影しました。65点ぐらいの出来だと思えます。

#### 15) 家族で受け継ぐ・無形文化財 (BD)

黒田敏彦さん 19分

石川県珠洲市(能登半島)で揚げ浜式製塩を守り続ける5代目浜士・角花豊さん(62歳)を取材された作品です。作者は昭和56年に豊さんの父浜士4代目・菊太郎さんを8ミリフィルムで撮影されています。作品には、菊太郎さんが何としても伝統を守っていきたくて語っているカットが挿入されています。豊さんは父の遺志を継ぎ妻や息子夫婦に14歳の孫も加わって塩作りの伝統を守っています。作業は過酷なもので、海水を2つの桶(70kg)に汲み砂浜の桶に入れる。桶と海を7往復する。そして桶の海水を円錐型の打ち桶で塩田に扇を払ったように撒く。太陽の熱と風で水分が蒸発した塩分を含んだ砂をかき集め組み立て式の箱の中に入れる。そしてふたたび海水を汲み、箱の中に入れる。箱から出る海水は塩分が6倍の鹹水である。鹹水を釜屋へ運び午前3時に荒炊きして濾過したものを本炊きする。「釜屋のなかは灼熱の地獄である。」とナレーション。釜炊きは難しいようで、豊さんが親父は釜炊きが下手だったなあ。と言います。84歳で亡くなった菊太郎さんのお墓に、お盆の日にお参りする豊さんも撮影されています。揚げ浜式の塩作りは金儲けとしてはこんな効率の悪いものではありません。伝統を守る熱い思いだけがこんな過酷な仕事を続ける理由でしょうか。2008年に国の無形文化財に指定されたそうです。出来上がった塩を取出すカットで終わります。素晴らしい作品です。